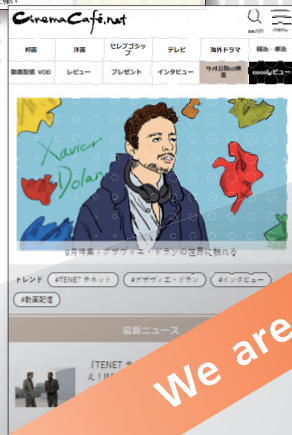


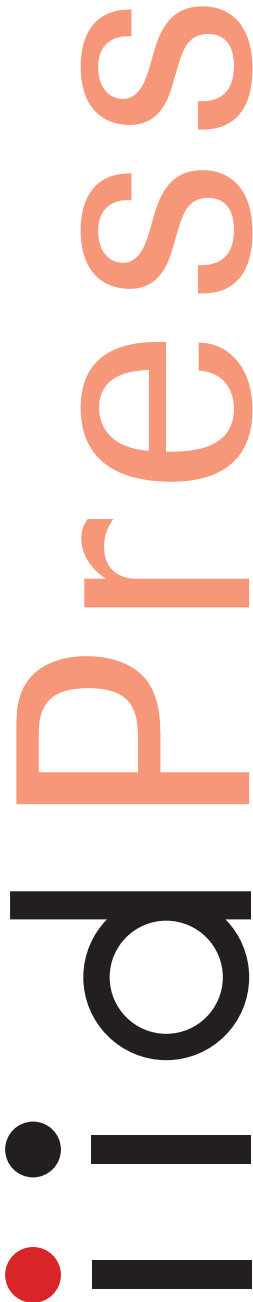
第 21 期



We are the User Experience Company.

通期報告書

2020年6月期
(2019.7.1 ~ 2020.6.30)





株主の皆さまへ

TOP MESSAGE

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2020年6月期は、第4四半期に一部新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたものの、コンテンツマーケティングソリューション事業（CMS事業）の回復もあり、連結売上高は52億6千万円と三期連続で過去最高を更新し、営業利益は前年伸長となる3億1千5百万円となりました。

コンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP事業）におきましては、学研グループから老舗のアニメ専門誌「アニメディア」等のアニメ関連事業を取得したほか、「ワンルームオーナー.com」等の不動産投資に関するメディアやグルメ情報に特化したメディア「めしレポ」を取得、さらにはメルカリから自動車好きのためのコミュニティ「CARTUNE」を運営するマイケル株式会社の全株式を取得し子会社化するなど、積極的に投資を実行しております。一方、引き続き事業開発にも注力しており、ICT化が急務の教育関係者をメインターゲットにした教育業界向けの情報サイト「リシード（ReseEd）」の開設や、動物のリアルを伝えるWebメディア「REANIMAL」を開設するなど、6つの新しいメディアを立ち上げ、事業拡大を図っております。またコロナ禍においては、オンライン展示会の実施や、試写会・セミナーなど既存マーケティング施策のオンライン転換など、Withコロナ時代に適応した新たなマーケティング施策を展開しております。

第5次モビリティ革命を支援する「iid 5G Mobility」においては、株式会社ジゴワツと共同開発した、スマートフォンをクルマの鍵として使える「バーチャルキー」が複数のモビリティサービスにおいて採用が始まるなど、実用化から普及フェーズへ向けた歩みを進めております。

私たちイードグループは、目まぐるしく変化する社会情勢にも柔軟に対応し、今後も積極的にM&Aや事業開発を推進するとともに、ニューノーマルの時代における企業のあり方を追求し、引き続きグループの成長に向けて邁進してまいります。

今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株式会社 イード
代表取締役 宮川 洋

Contents

株主・投資家の皆さまへ	1	特集	5
イードの事業概況	2	会社概要・株主の概況	9
2020年通期業績ハイライト	3		

Contents Marketing Company

イードは、Webメディア運営会社の旧IRI-CTと、マーケティングリサーチ会社の旧イードが合併して生まれたコンテンツマーケティングカンパニーです。

インターネットを活用した企業のマーケティング支援事業を軸に、すべてのステークホルダーにとって最高のUXを提供できるよう挑戦し続けています。

■イードの事業概況：2つのセグメントにて事業を展開しています



2020年6月期通期 業績ハイライト

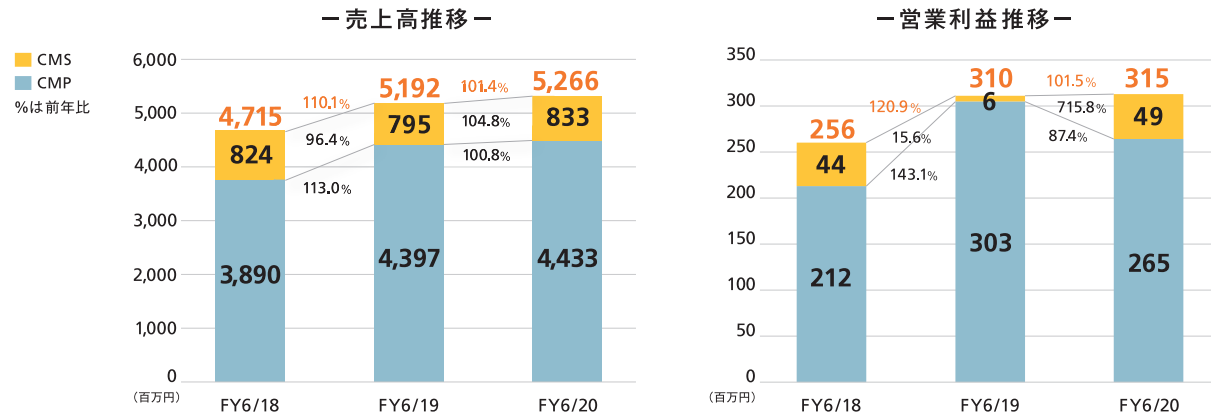
- ・連結の売上高は三期連続で過去最高を更新
- ・連結の営業利益も堅調に推移

連 結				CMP				CMS			
	FY6/20	FY6/19	前期比		FY6/20	FY6/19	前期比		FY6/20	FY6/19	前期比
売上高	5,266	5,192	101.4%	売上高	4,433	4,397	100.8%	売上高	833	795	104.8%
営業利益	315	310	101.5%	営業利益	265	303	87.4%	営業利益	49	6	715.8%
営業利益率	6.0%	6.0%	—	営業利益率	6.0%	6.9%	▲0.9pt	営業利益率	6.0%	0.9%	+5.1pt

(百万円)

2020年6月期通期 セグメント別売上高、営業利益の推移

- ・CMP事業はコロナウイルスの影響でネット広告は前年並みも、データ・コンテンツ提供(EC物販含む)は大きく伸長
- ・CMS事業はECソリューションの大型案件受注により売上高、営業利益ともに回復基調



2020年6月期通期 連結損益計算書

- ・2020年5月15日公表の業績予想に対し、営業利益は157.7%、経常利益は150.1%といずれも予想を大幅に上回る結果となりました。

売上高は5,266百万円となり、5月15日公表の業績予想に対して101.3%の達成率となりました。また営業利益は315百万円で達成率157.7%、経常利益も277百万円で達成率150.1%といずれも予想を大きく上回る結果となりました。

売上高、営業利益ともに従来どおりCMP事業が連結全体を牽引しました。第4四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、広告需要が減少するなどの影響を受けましたが、一方で、いわゆる「巣ごもり消費」の常態化によりデータ・コンテンツ提供事業(EC物販含む)は大きく伸長しました。

	FY6/20 期末	5/15公表の 業績予想	達成率	FY6/19 期末	前期比
売上高	5,266	5,200	101.3%	5,192	101.4%
営業利益	315	200	157.7%	310	101.5%
経常利益	277	185	150.1%	313	88.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	104	130	80.0%	194	53.6%

(百万円)

2020年6月期通期 連結貸借対照表

- ・当期純利益(※)の堅調な積み上げによる利益剰余金の増加と、自己株式の処分により純資産が増加

当連結会計年度末における総資産は3,978百万円(前連結会計年度末比733百万円増加)となりました。これは主に、流動資産に含まれる現金および預金が488百万円増加したことや、固定資産に含まれるのれんが124百万円増加したこと等によるものです。

当連結会計年度末における負債総額は1,009百万円(前連結会計年度末比123百万円増加)となりました。これは主に、流動負債に含まれる返品調整引当金が42百万円増加したこと等によるものです。

当連結会計年度末における純資産合計は2,969百万円(前連結会計年度末比610百万円増加)となりました。これは主に、自己株式の処分により457百万円増加したこと、利益剰余金が103百万円増加したこと等によるものです。

	FY6/20 期末	FY6/19 期末	前期比 増減額
流動資産	3,048	2,429	619
現金及び預金	2,014	1,526	488
固定資産	916	816	100
のれん	264	140	124
資産合計	3,978	3,245	733
流動負債	859	752	107
固定負債	150	133	17
負債合計	1,009	886	123
株主資本	2,895	2,302	593
利益剰余金	1,174	1,071	103
自己株式	▲35	▲492	457
純資産	2,969	2,359	610
負債・純資産	3,978	3,245	733

(百万円)

※当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

Withコロナ時代の新たなマーケティング企画

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、リアルなイベント等の中止や外出自粛が求められるなか、既存のマーケティング施策をオンラインに転換し、多くの集客を実現しています。

各媒体でオンラインの展示会を実施、Withコロナ時代の新たなビジネスマッチングを支援。試写会やB2Bセミナーもオンライン開催へ、不動産営業のオンライン化も支援



Response VITRUAL AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPO 2020

CASEやMaaSそして5Gなど“100年に一度の大変革”といわれている自動車業界で、これから求められる最新の自動車技術について発信するオンライン展示会を日本最大級の自動車情報メディア「レスポンス」が主催しました。



バーチャル教育ICT Expo

新型コロナウイルスの感染拡大もあり、待ったなしで導入が進められる教育のICT化について、各社のソリューションの紹介や、文科省などによる講演を実施しました。今期新たに立ち上げた教育業界専門メディア「ReSeed」が主催しました。



Game Business Expo

次世代機の発売や、5Gのサービススタートなどゲーム業界の節目の年に情報発信や共有の場として、ゲーム作りに欠かせない製品の紹介や、著名人による講演を実施しました。ゲーム業界誌「GameBusiness.jp」が主催しました。



映画作品の試写会をオンラインで開催

新作映画のユーザー向け試写会のオンライン開催をパッケージ化しました。第一弾は「ルース・エドガー」、ほか複数作品に提供しています。

© 2018 DFG PICTURES INC. ALL RIGHTS RESERVED.

■CASE・MaaSの最新線
～2050年までのシナリオ、
patto、ダイハツMaaS、
データ検討会、法改正の
ポイント～

■HMI・中国のトレンドと
未来の車両インテリア設計

■モビリティ産業における
ポストコロナの世界観を
見据えた事業のあり方・
つくり方

ほか

B2Bセミナー 事業オンライン開催へ

3月以降、主に自動車領域で開催しているB2Bの有料セミナー事業もオンライン開催に転換して開催を継続しています。

不動産営業の オンライン化を支援

当社が運営する不動産投資メディアで事業者に対してオンラインセミナー、オンライン面談の企画、運営、実施を一気通貫でサポートするオンライン化サポートパッケージを提供開始しました。



ワンルームオーナー.com

マンションオーナーガイド
Mansion Owner Guide

プレミアムオーナー.com

急成長するEC領域への取り組みについて

新型コロナウイルスの影響で急成長するEC領域において、自社でのECサイト運営とソリューション提供の両面で事業を展開しています。

グループ会社を中心に複数のECサイトを運営 ECプラットフォーム「marbleASP」によるECサイト運営支援

グループ会社を中心に特化型商品を取り扱う複数のECサイトを運営しています。商品の調達から販売、物流、カスタマーサポートまで一気通貫で社内でもハンドリングする体制を構築しています。また株式会社エンファクトリーや株式会社ネットショップ総研では自社ECサイトの運営に加えて、他社のECサイト運営支援やコンサルティングも実施しています。



EhonNavi
Picture Books for Happiness

株式会社絵本ナビ

絵本や児童書、図鑑などの販売と絵本情報発信を行う日本最大の絵本サイトです。



**STYLE
STORE**

株式会社エンファクトリー

全国各地で作られるストーリーのあるこだわりの逸品を販売するECサイトです。



DIY関連サイト

株式会社ネットショップ総研

DIYを支援するアイテムを販売するECサイトを複数運営しています。

株式会社富士山マガジンサービスとの合併会社、株式会社アイデアを設立し、出版社向けのECサイト運営事業を強化しました。既に、文藝春秋「今月の豪華主義」、週刊ダイヤモンド「逸品館」など複数の雑誌と連動したECサイトを展開しています。



アイデアと学校法人文化学園 文化出版局が女性雑誌「ミセス」の上質な世界観を食で表現したECサイト「ミセス口福便」を公開し、誌面通販を開始しました。



「iid 5G Mobility」の取り組みについて

第5次モビリティ革命を支援する自動車特化型アクセラレーター「iid 5G Mobility」を通じて、MaaS (Mobility as a Service) 領域の事業開発、情報発信、進出企業支援や投資を行っています。

「バーチャルキー」がモビリティサービスに相次ぎ採用、今後は実用化から普及フェーズへ。投資先のキャンピングカー株式会社、リモートワークや新型コロナウイルス対策で新たな需要を開拓

株式会社ジゴワッツと共同開発した、スマートフォンをクルマの鍵として使える「バーチャルキー」が、さまざまなモビリティサービスで採用が始まりました。

自動車
メーカー
との
連携



大阪のスズキアリーナ豊中などで展開するカーシェアリングサービス「Patto」

通信会社
との
連携



NTT東日本の社用車を活用するカーシェアリングサービス「Nette」

電力会社
との
連携



九州電力が2020年12月より開始予定のマンション向けEVカーシェアリングサービス「weev」

投資先のキャンピングカー株式会社では、年初まで増加していた訪日外国人の利用が減少したものの、リモートワークやワーケーション(※)や新型コロナウイルス対策での利用が急増しました。3密回避ができる設備として多方面で注目されています。※「ワーク」(労働)と「バケーション」(休暇)を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地で休暇を取りながらリモートワークをする働き方

新しい生活様式に合わせた動くオフィス



リモートワークやワーケーションなど新しい多様な働き方に対応するムービングオフィスカーを展開、大会議に利用できるラウンドソファ、吊り下げ型モニター、サブバッテリーなどビジネス用途に必要な機能を搭載しています。

新型コロナウイルス対策に活用、PCR検査にも



医療機関や自治体に向けて「療養病床」としても活用が可能な防災キャンピングカーを提供しています。医療機器を動作させるための追加電源やボータブル型トイレ、ベッドなども搭載、今後はPCR検査用のスペースとしても提供していきます。

強固な財務基盤を背景に積極的なM&Aを実施

既に一定のユーザー数やブランド価値を持つ大企業からの戦略的スピンオフ案件をはじめ、不動産投資や婚活など、新たな領域の開拓も進めています。



メルカリより自動車コミュニティ「CARTUNE」運営のマイケルを取得

株式会社メルカリより、毎月300万人が利用する自動車コミュニティ「CARTUNE」を運営するマイケル株式会社の全株式を取得し子会社化しました。日本最大級の自動車メディア「レスポンス」などドードが保有する自動車関連資産と連携を図り、グループとして自動車ユーザーへの圧倒的なリーチを活かした展開を進めていきます。

クルマ好きの
コミュニティ
CARTUNE

100万DL突破



不動産投資 関連メディア事業を取得

不動産投資に関するメディアや、関連するコンサルティング事業を取得、「マネーの達人」など既存のマネー関連のコンテンツとの連携を図り、マネー領域を強化していきます。



市場が成長している 婚活領域に進出

2025年には市場規模が1000億円を超えると予想(※)されているオンライン婚活・恋活マッチングサービスの領域に進出するために「婚活ナビ+」の事業を取得しました。

※マッチングエージェントによる予測(2020年1月)



オンライン予約が進む グルメ領域を強化

飲食店においてもオンライン予約が一般化している中で、シフトするマーケティング費用をターゲットにしたメディアを取得、コロナ後の展開を見据えてコンテンツを強化していきます。



会社概要

会社名 株式会社イード (IID, Inc.)
設立 2000年4月28日
所在地 〒163-0228 東京都新宿区西新宿2丁目6-1 新宿住友ビル28階
資本金 873,817千円
事業内容 メディア事業
リサーチ事業
メディアコマース事業
従業員数 単体147名／連結229名
子会社 Interface in Design, Inc.
株式会社エンファクトリー
株式会社絵本ナビ
株式会社ネットショップ総研
マイケル株式会社
※2020年6月30日付で、マイケル株式会社の全株式を取得し、子会社といたしました。

役員

代表取締役 宮川 洋
取締役 須田 亨
取締役○ 大和田 廣樹 (株式会社IOTスクエア 代表取締役会長)
取締役○ 吉崎 浩一郎 (株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役)
監査役 山中 純雄
監査役○ 安達 美雄
監査役○ 藤山 剛 (株式会社ラウンドアバウト・キャピタル 代表取締役)

○＝社外役員

株主の概況

発行可能株式総数 8,000,000株
発行済株式の総数 5,006,200株
株主数 2,472名

■大株主の順位			
順位	大株主名	株式数	持株比率
1	エキサイト株式会社	706,900	14.23%
2	株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	517,700	10.42%
3	株式会社マイナビ	400,000	8.05%
4	株式会社ティーガイア	250,000	5.03%
4	株式会社ボブラ社	250,000	5.03%
6	株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	240,000	4.83%
7	電通デジタル投資事業有限責任組合	200,000	4.02%
8	株式会社SBI証券	128,700	2.59%
9	宮川 洋	128,500	2.58%
10	J.P. MORGAN BANK LUX EMBOURG S.A.1300000	125,295	2.52%

(注1) 2020年6月30日時点の株主名簿に基づき記載しております。

(注2) 当社は、2020年6月30日時点で自己株式40,193株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式についてのご案内（株主メモ）

上場市場 東京証券取引所マザーズ
証券コード 6038
事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 毎年事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日 毎年6月30日
株式の売買単位 100株
公告掲載方法 電子公告により行います。公告掲載URL：http://www.iid.co.jp/company/koukoku
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
連絡先・郵便物送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL：0120-232-711（フリーダイヤル）

第21期



We are the User Experience Company.

通期報告書

2020年6月期
(2019.7.1～2020.6.30)株式会社イード
(証券コード 6038)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。本資料に掲載されている各セグメントの数値はセグメント内に連結調整を反映する前の数値です。

IRサイトのご案内

イード IR

検索

<http://www.iid.co.jp/ir/>S
S
E
R
I
O
I
D